

戸田ビルディングサンフランシスコに太陽光発電設備を導入 —オフィスビルにおける共用部使用電力の約50%を自己供給—

戸田建設(株) (社長：今井雅則) の子会社で、アメリカ合衆国における不動産事業会社であるアメリカ戸田建設(株) (社長：古賀孝三) は、同社がアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市に所有、賃貸運営する事務所ビル「戸田ビルディングサンフランシスコ」に247.51kwの太陽光発電設備を導入しました。



写真1 戸田ビルディングサンフランシスコ屋上 太陽光パネル敷設状況

事務所ビルや集合住宅が林立するサンフランシスコ市街にありながら、約4,000㎡の広さを持つ当ビルの屋上に、934枚の太陽光パネルを敷設しました。日本に比べて約1.5倍の豊富な日射量も寄与し、年間発電電力量は371,265kWhと期待されており、CO₂削減効果も年間約230 tが見込まれています。

カリフォルニア州では、近年、電力単価の上昇が著しく、節電は経営課題の一つでした。本設備は、本年4月6日より稼働を開始し、発電した電力は、現在、当ビルの共用部の照明等の電力として使用されています。稼働開始後最初の1ヵ月は、曇りの日が多かったこともあり、発電電力量は19,760kWhに留まりましたが、共用部にて必要とされる電力量の約50%を自己供給できるようになったため、電気料金の大幅な削減が実現し、環境面のみならず、経営面でも大きな改善につながっています。

環境意識が高いとされるサンフランシスコ市においても、既存の事務所ビルにこのような規模の太陽光発電設備を導入するケースは稀であり、当ビルの入居テナントを始め、近隣からも注目を集めています。

【太陽光発電設備 導入概要】

設置場所	戸田ビルディングサンフランシスコ
所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市 タウンゼンドストリート600番西
発電容量	247.51kW (太陽光パネル 単結晶265ワット×934枚、米国三菱電機(株)製)
年間発電量	371,265kWh
発電開始	2015年4月6日